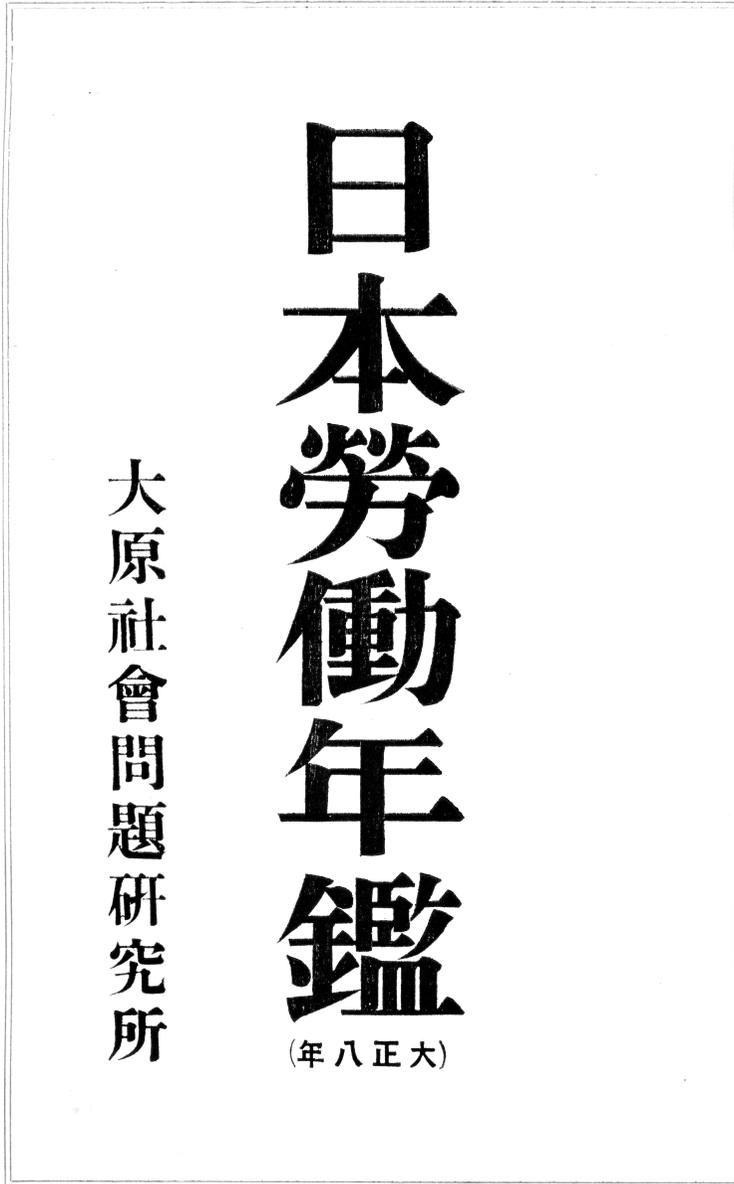


第1図 『日本労働年鑑』第1集の表紙



大原社会問題研究所出版部、1920年5月28日刊行。「大正8年」と書かれているが、実際は「大正9年版」である。

第2図 大原社会問題研究所設立趣意書、規定、現在所員

●大原社会問題研究所設立趣意書
世界戦争以來、社会問題の解決は我國に於ても、其の急を要するに到つた。此の問題の解決は、公平な
そして飽くまで根本的な立場からするを要し、決して一部利害關係者の見地からすべきでない。それ
は、問題の基礎に通り、我が國の實際に鑑み、且つ諸外國の眞例に徴して、充分研究調査を遂げなければ
ならぬ。本研究所は此の趣旨の下に建られたるものであり、其事業の計畫は大体次に掲ぐる規程の如くである。

●大原社会問題研究所規定

- 第一條 本所ハ大原社会問題研究所ト稱シ之ヲ大阪ニ置ク
- 第二條 本所ハ左ノ事項ヲ行フ以テ目的トス
- 一、社会問題ニ關スル研究及ビ調査ヲ行フコト
 - 二、社会問題ニ關スル特殊方面ニ付キ専門家ニ研究又ハ調査ヲ囑託スルコト
 - 三、社会問題ニ關スル本邦學者ノ研究ヲ刊行スルコト
 - 四、社会問題ニ關スル海外ノ著書ヲ翻譯刊行スルコト
 - 五、社会問題ニ關スル懸賞論文ヲ募集シ之ヲ審査發表スルコト
 - 六、社会問題ニ關スル研究及ビ調査ヲ援助スルコト
 - 七、社会問題ニ關スル學術講演及ビ講習會ヲ開催シ學術雜誌ヲ刊行スルコト
 - 八、社会問題ニ關スル内外圖書及ビ資料ヲ蒐集シ廣ク研究者ノ便ヲ圖ルコト
- 第三條 本所ニ左ノ所員ヲ置ク
- 一、所長 一名
 - 二、評議員 若干名
 - 三、研究員 若干名
 - 四、研究囑託 若干名
 - 五、助手 若干名
 - 六、幹事 一名
 - 七、圖書主任 一名
 - 八、書記 若干名
- 創立 大正七年七月二十八日
●本部 大阪市南区天王寺伶人町

●現在所員 (大正九年九月現在)

▲所長	野岩三郎
▲評議員 (4名入選)	大原孫三郎、河原滋次郎、小川河太郎、法學博士 河原政一
▲研究員研究囑託	高野岩三郎、田原政一、米田慎吾、米田庄太郎、高田久留、米田謙二、高野岩三郎、竹田民藏、高田好太郎、久留間敏造、榑田新藏、植田義等、天野久興、森川隆夫、三上孝基、森戸辰男、森川隆夫

『日本労働年鑑』第1集の巻末に掲載されたもの。研究所の趣意書、規定等は第7集まで掲載された。